

## 平成 24 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

### 1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：上怒和集落

交付金額：5, 0 3 2 千円

協定参加世帯数：3 7 人（うち漁業世帯 3 7 人）

### 2 協定締結の経緯

上怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り、刺し網が盛んで、現在はアワビの養殖も行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、新規養殖業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・海域環境の保全のために、松の管理及び草刈りを実施した。（年間 2 回）
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 8 回）
- ・ヒジキ増殖のためのブロックやアオリイカの産卵場を整備した。（年間 2 回）

#### ②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・ヒジキの養殖に取り組み漁家所得の向上を図った。
- ・ヒジキ干場として、コンクリート舗装を実施した。（2 9 3 m<sup>2</sup>）
- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、鮮魚及びヒジキの簡易加工に取り組んだ。

### 4 取組の成果

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・整備した松を今後、植樹することで、沿岸海域に栄養分が供給されることが期待でき、土砂の流出を防止できた。
- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。

- ・ヒジキブロックを設置することで稚魚育成場としての藻場造成が図られた。

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・ヒジキの養殖及び水産物の簡易加工に共同で取り組み、漁連共販等に出荷や農林水産祭りでのイベントに参加し販売することより、漁業所得の向上と生産力の向上が図れた。今後は、ヒジキの増産について研究機関とも連携しながら調査研究に努めていく。  
(ヒジキ出荷量 40kg)

植樹・魚つき林の整備	海岸清掃
	
アオリイカの産卵場の整備	ヒジキブロックの設置
	
ヒジキの養殖	ヒジキ干し場の整備
	

簡易加工



簡易加工品販売

